

令和2年度
前橋工科大学学生生活実態調査
報告書



Maebashi Institute of Technology

前橋工科大学

はじめに

本調査は学生委員会が中心となり、平成21年度から実施しています。

調査内容は、経済状況、食生活、大学生活など多岐に渡っており、幅広い視点から本学学生の生活実態等を把握し、今後の大学内での各種検討につなげることを目的としています。

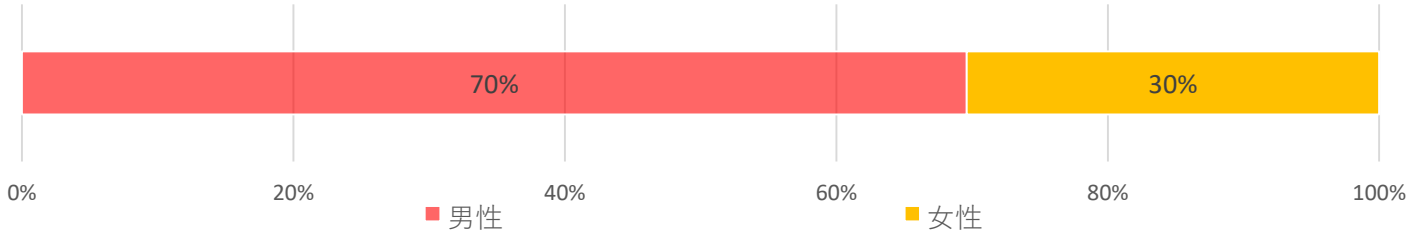
この度、今年度の調査結果を取りまとめましたので、報告します。

調査実施日	令和2年9月25日
調査対象学生数	1,322名
有効回答数	938名
(有効回答率	71%)

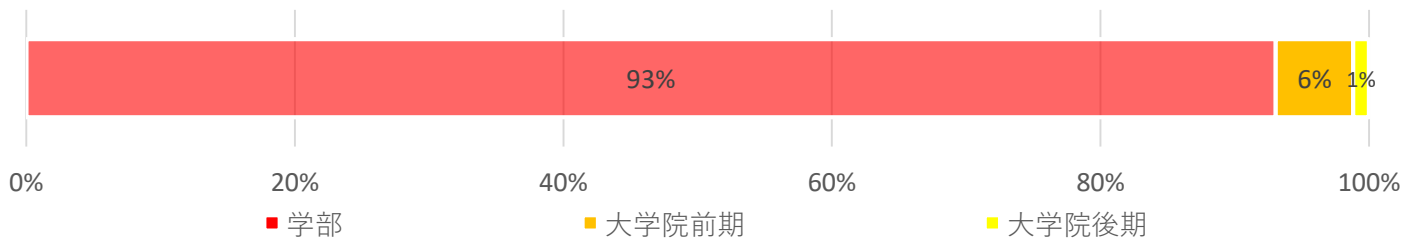
令和2年12月
前橋工科大学学生委員会

1. 回答者データ

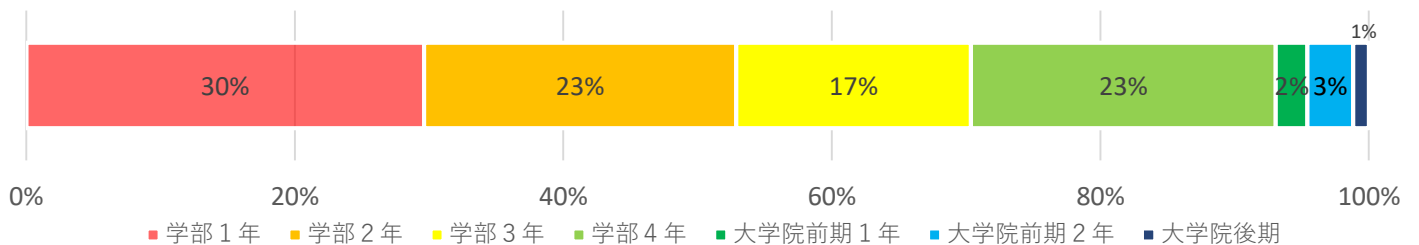
■ 男女比 (N = 938)



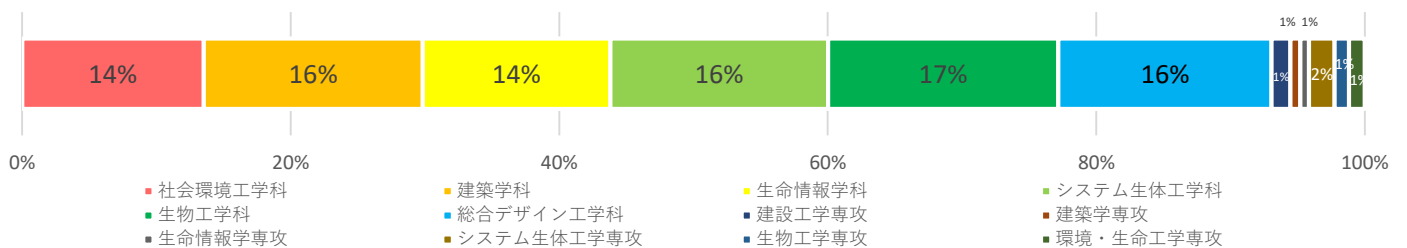
■ 課程 (N = 938)



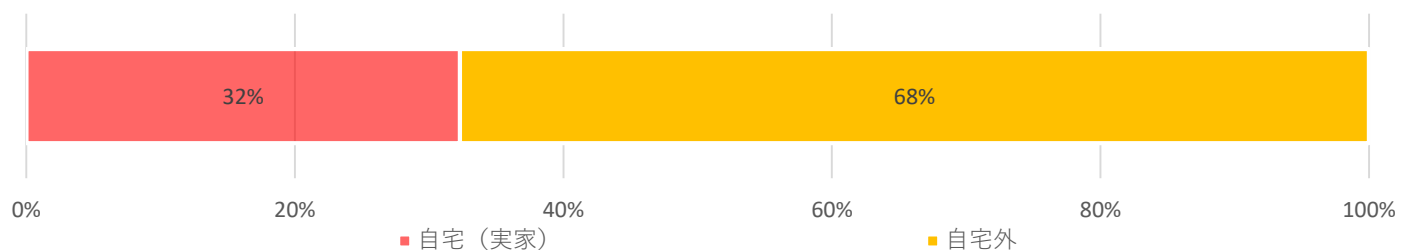
■ 学年 (N = 938)



■ 学科/専攻 (N = 938)



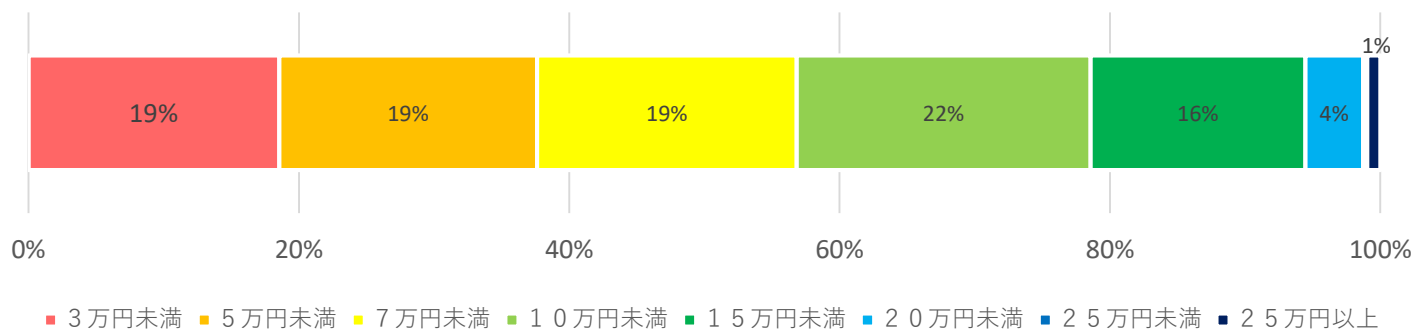
■ 住居スタイル (N = 938)



2. 経済状況（1）

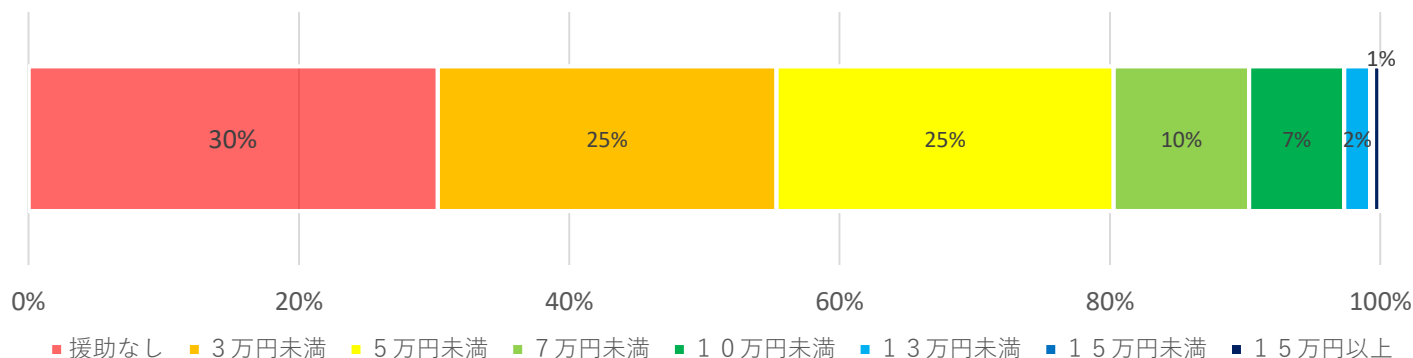
■ 一か月の総収入額（N = 938）

3万円未満から10万円未満までが同規模であり、多数を占める。



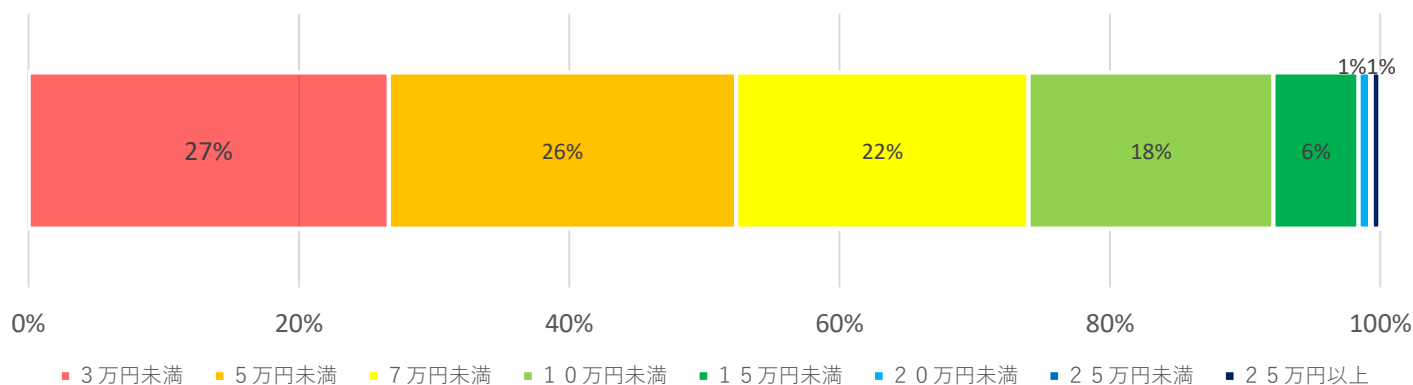
■ 家族からの援助額（N = 938）

「援助なし」「3万円未満」「5万円未満」が同規模であり、多数を占める。



■ 一か月の総支出額（N = 938）

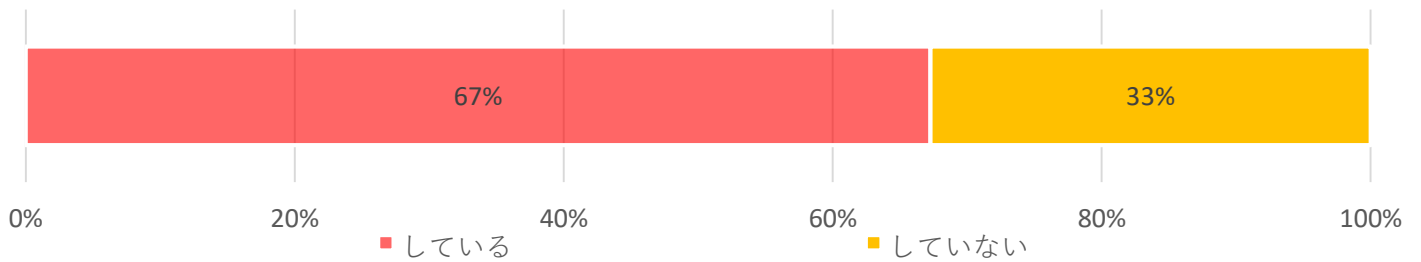
約9割の学生が1か月の支出を10万円未満に抑えている。



2. 経済状況（2）

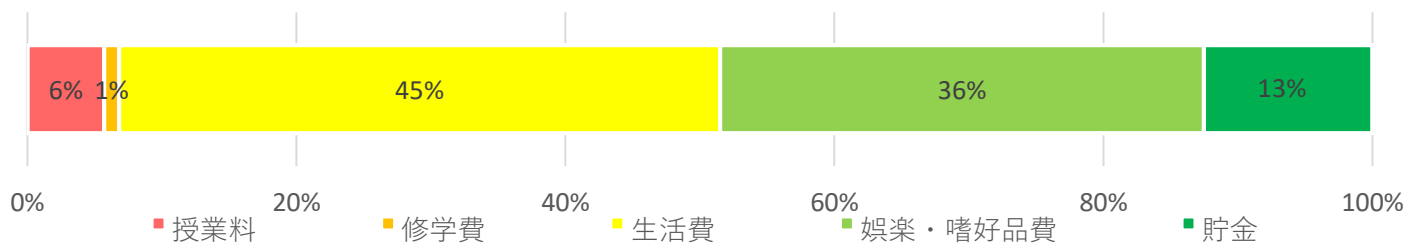
■ アルバイト（N = 938）

約7割の学生がアルバイトを行っている。



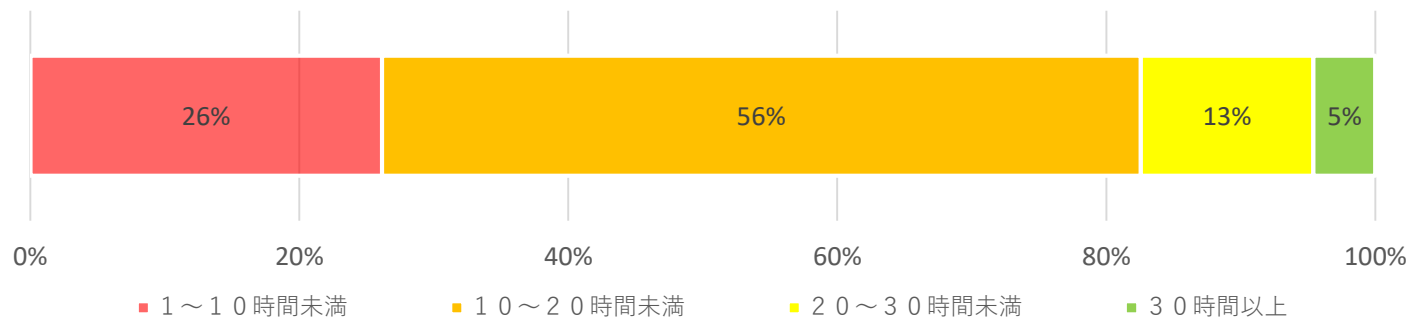
■ アルバイトの目的（N = 631）

アルバイトをしている学生のうち、約半数の学生が生活費を賄うためにアルバイトを行っている。



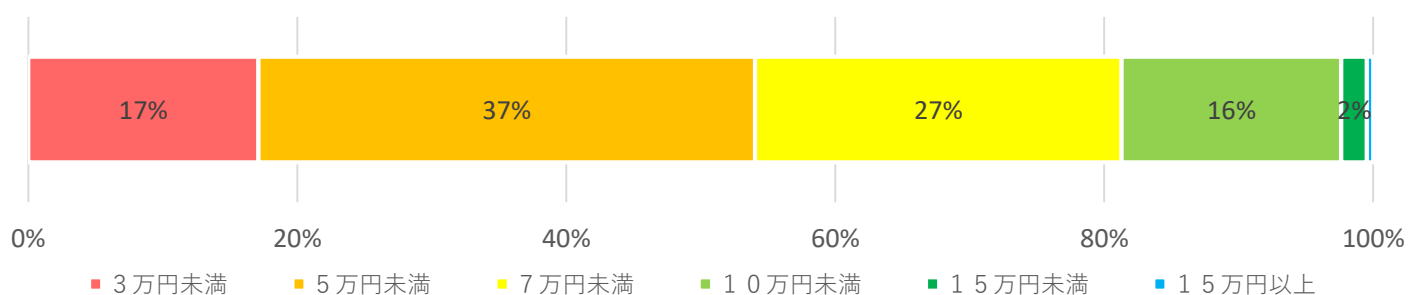
■ アルバイトの労働時間（週）（N = 631）

8割の学生が週20時間未満でアルバイトを行っている。



■ アルバイトの収入額（N = 631）

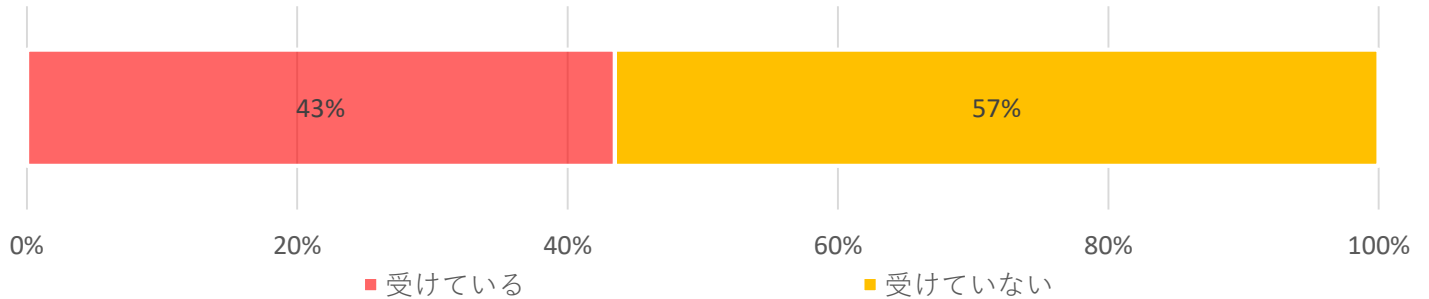
8割の学生が3万円～7万円の収入をアルバイトで稼いでいる。



2. 経済状況（3）

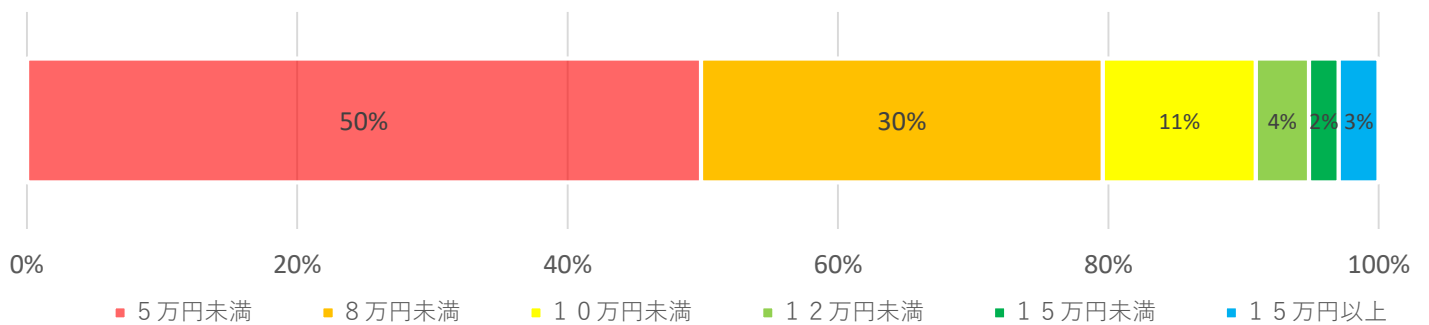
■ 奨学金の受給状況（N = 938）

4割の学生が奨学金を受給している。



■ 奨学金の受給額（N = 407）

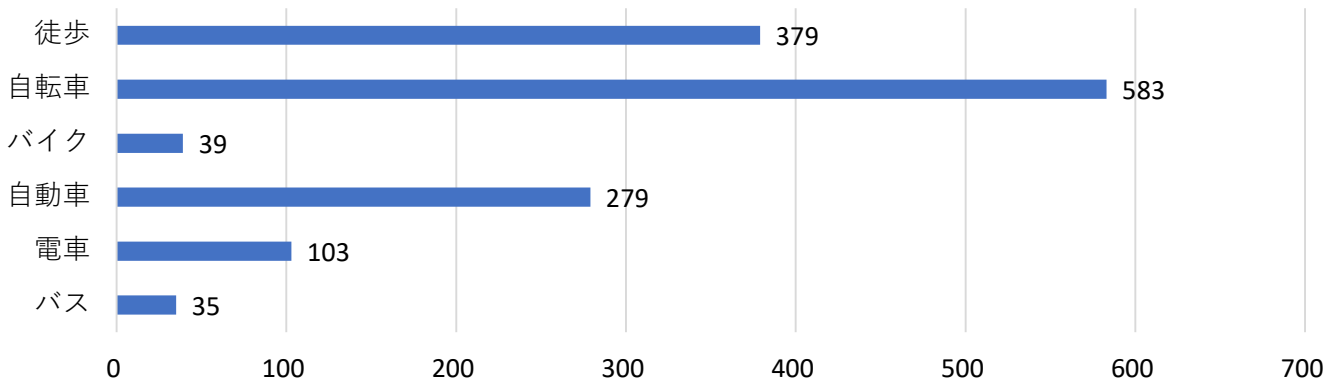
奨学金を受給している学生のうち、8割の学生が8万円未満の奨学金を受給している。



3. 大学生活（1）

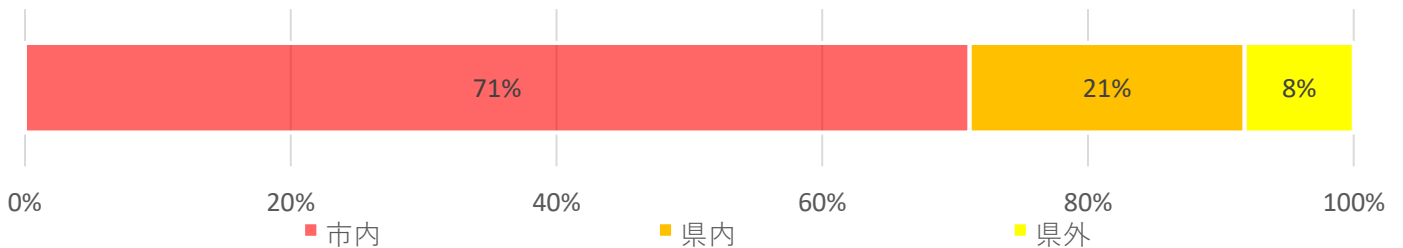
■ 通学方法（複数回答）（N = 1 4 1 8）

多くの学生が自転車で通学している。



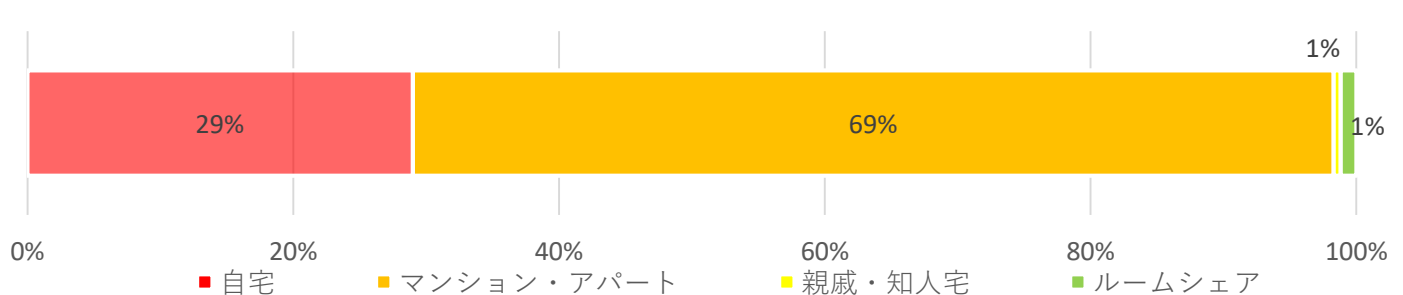
■ 居住地域（N = 9 3 8）

市内から通学する学生が7割となっている。



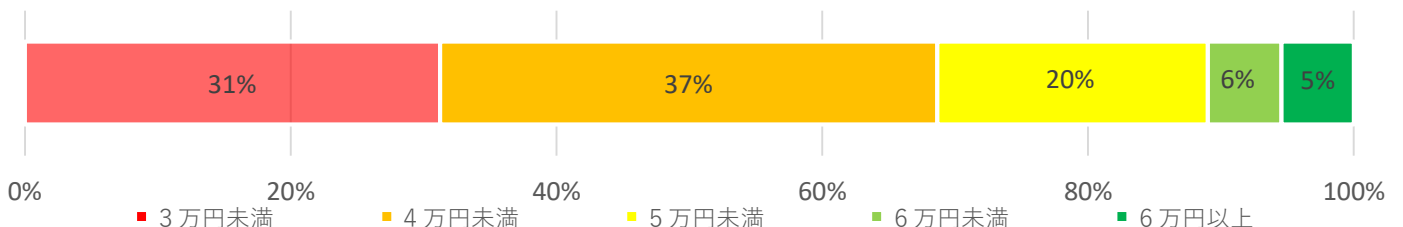
■ 住居の種類（N = 9 3 8）

7割の学生がマンション・アパートに住んでいる。



■ 家賃（N = 9 3 8）

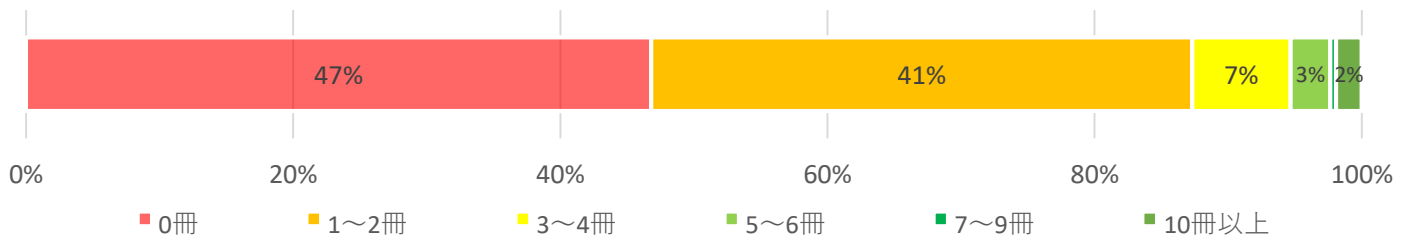
約9割の学生が5万円未満の家賃の住居で生活している。



3. 大学生活（2）

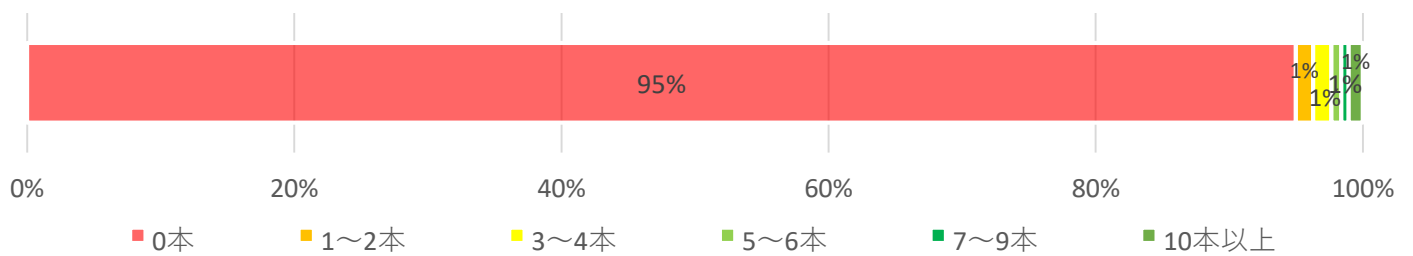
■ 読書（N = 938）

約半数が読書をしていない。



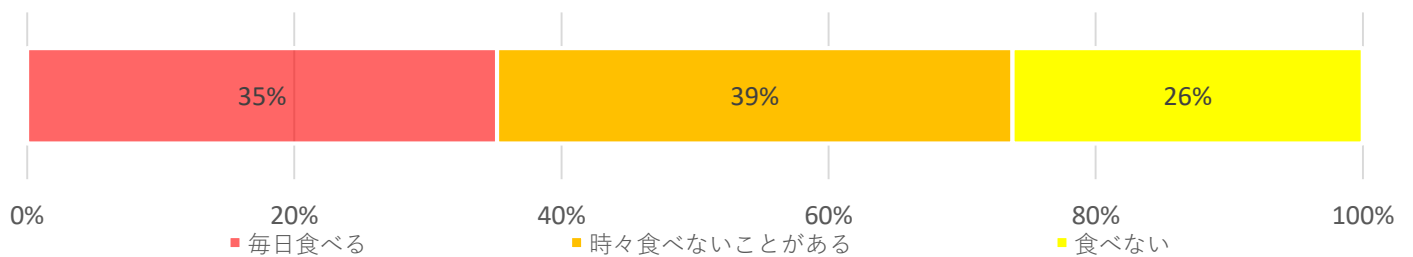
■ タバコ（N = 938）

95%は喫煙していない。



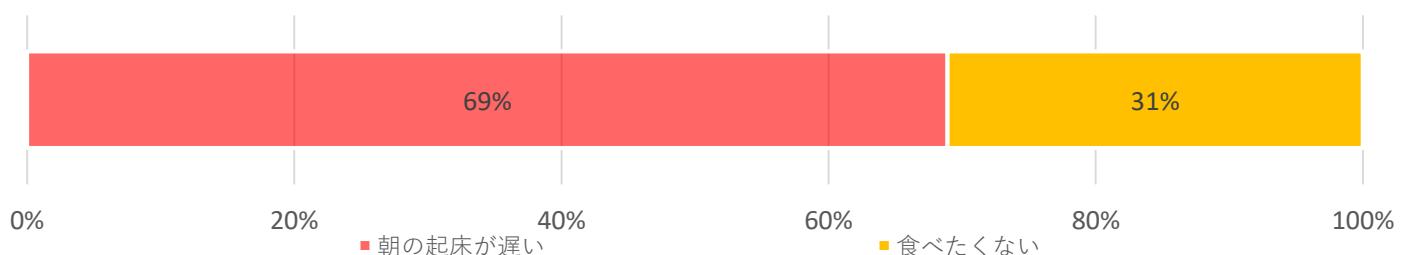
■ 朝食の有無（N = 938）

毎日食べる学生が3割しかいない。



■ 朝食を食べない理由（N = 608）

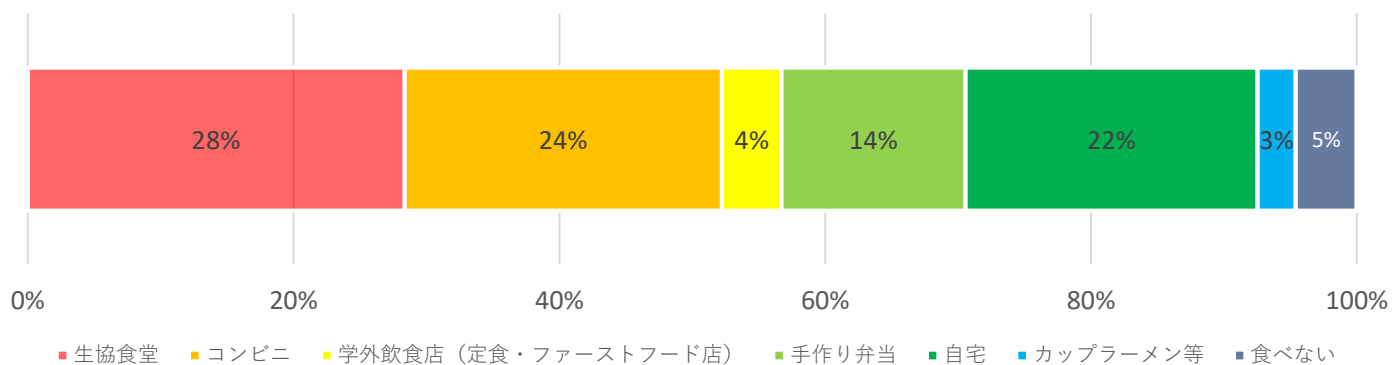
朝食を時々食べない学生及び食べない学生のうち、起床時間が遅いため朝食を取らない学生が7割となっている。



3. 大学生活（3）

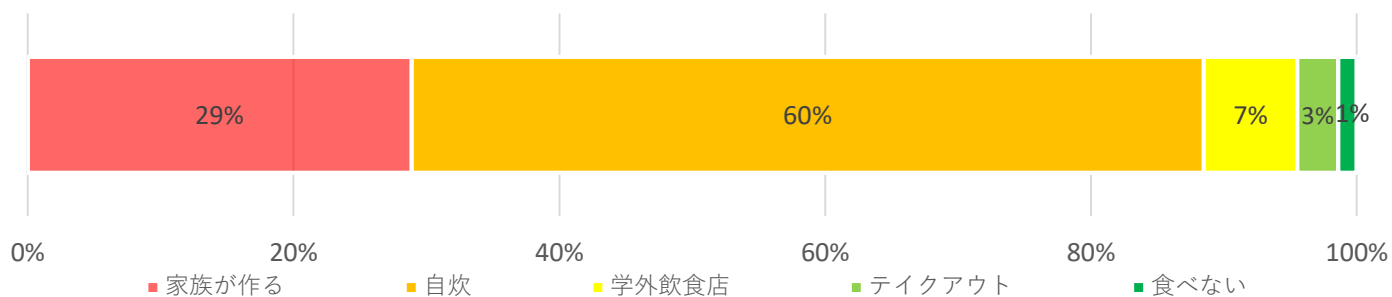
■ 昼食の種類（N = 938）

大学内やコンビニ等、アクセスしやすい場所で調達する学生が多い。



■ 夕食の種類（N = 938）

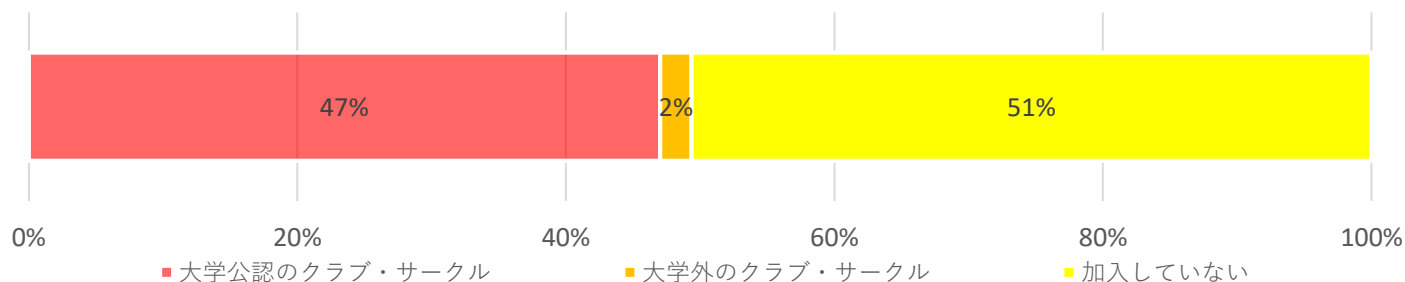
自宅外の学生が多いので、6割の学生が自炊をしている。



4. 課外活動

■ クラブ・サークル・団体活動（N = 938）

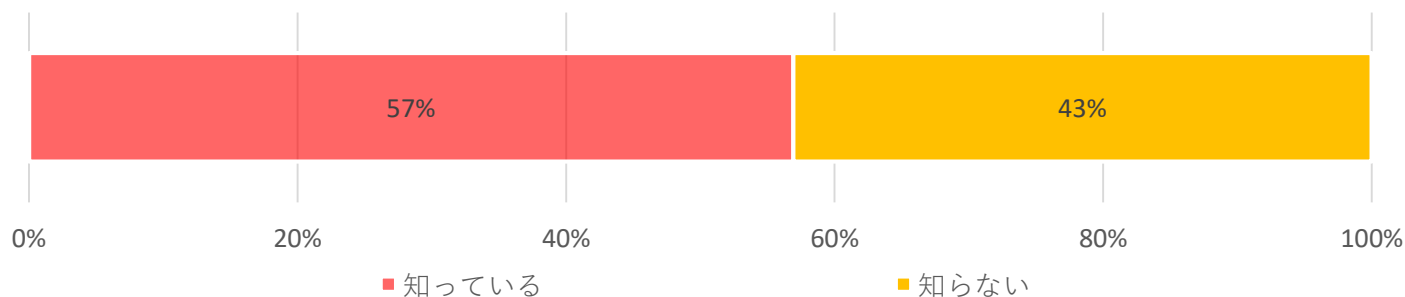
約半数以上の学生が学内外にて、サークル等の活動を行っている。



5. 悩み事と各種支援制度（1）

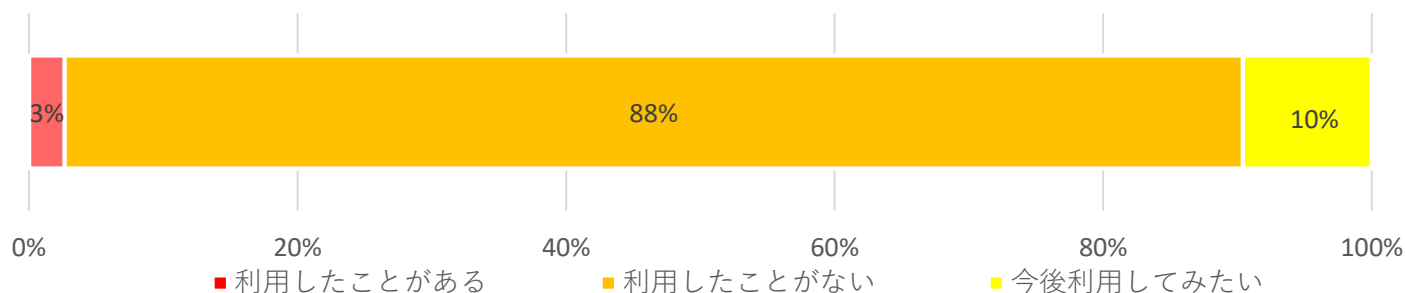
■ 学生相談窓口の認知度（N = 938）

相談窓口についての認知度は約6割である。



■ 学生相談窓口の利用（N = 938）

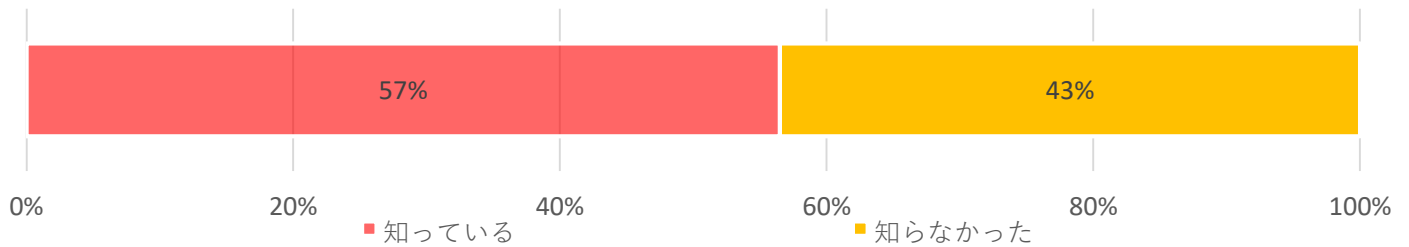
学生相談窓口を知っているが、利用者は数パーセントとごく僅かである。
一方で1割の学生が利用してみたいと考えている。



5. 悩み事と各種支援制度（2）

■ メンタル相談の認知度（N = 938）

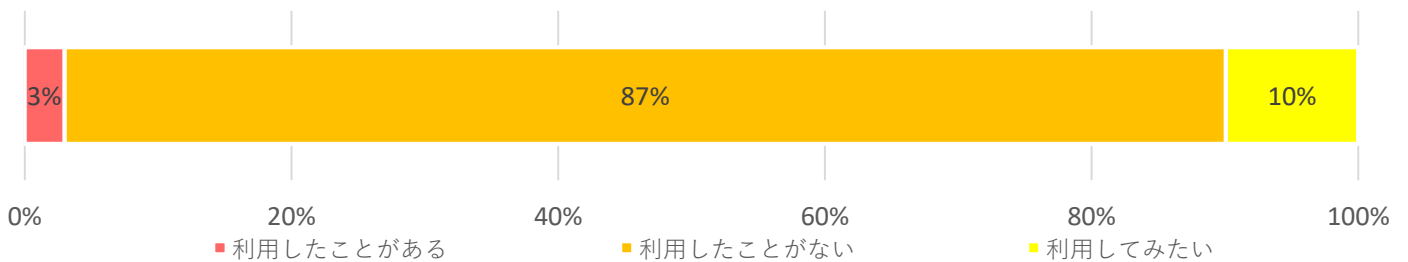
半数以上の学生がメンタル相談窓口を認知している。



■ メンタル相談の利用（N = 938）

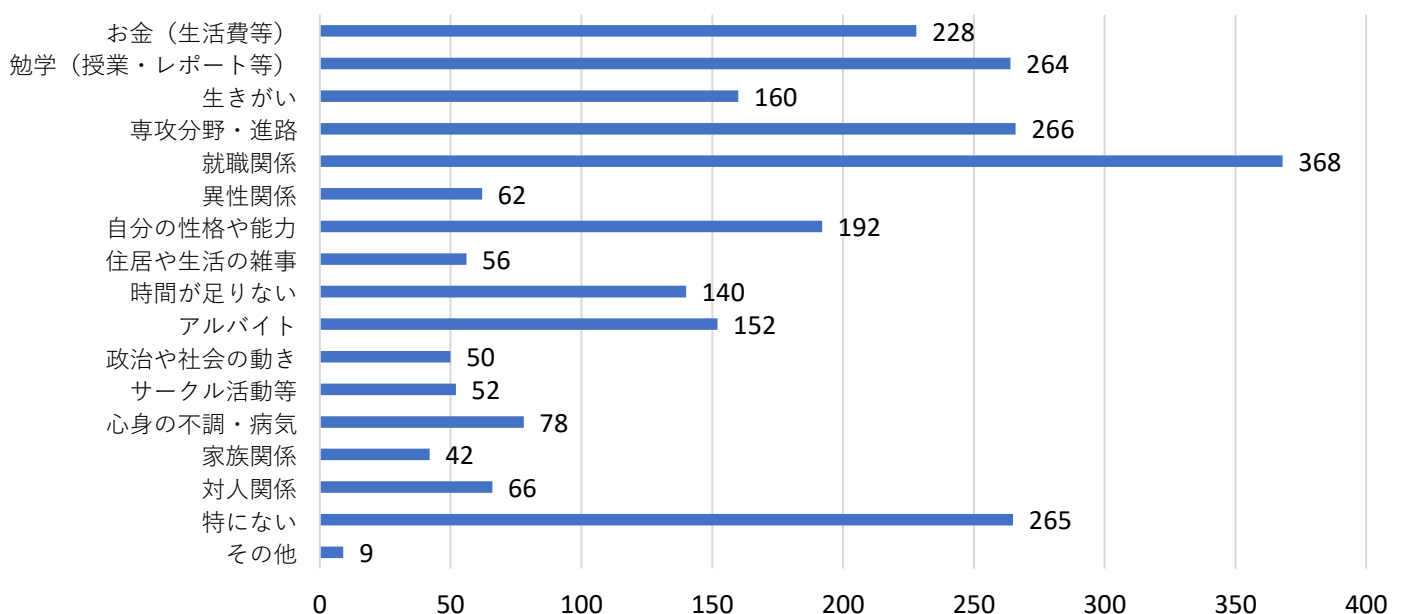
相談窓口を知ってはいるが、利用者数は数パーセントとごく僅かである。

一方で1割の学生が利用してみたいと考えている。



■ 日頃の悩み（複数回答）（N = 2450）

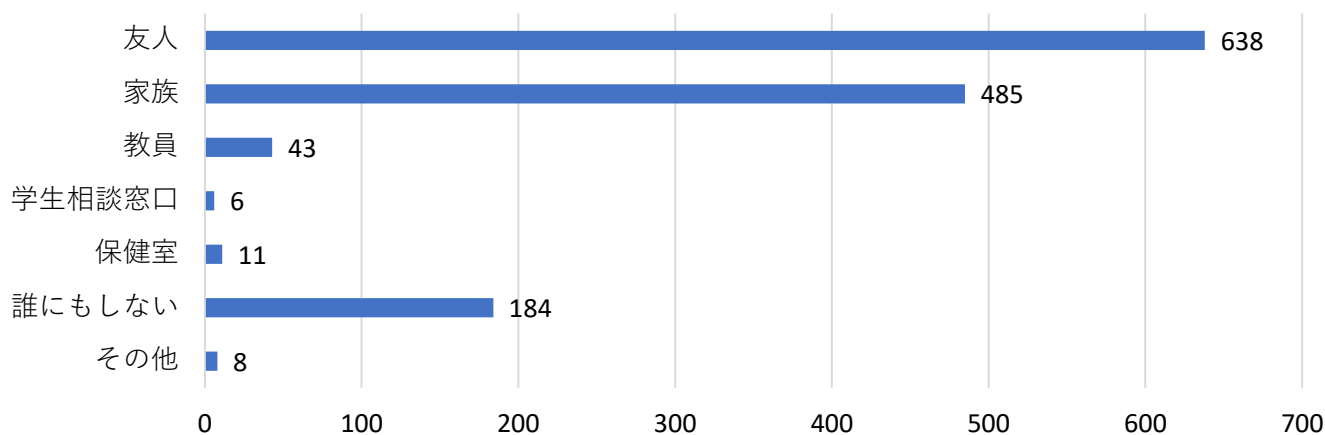
就職、進路、勉強といった日頃から意識しやすい項目に関する悩みが多い。



5. 悩み事と各種支援制度（3）

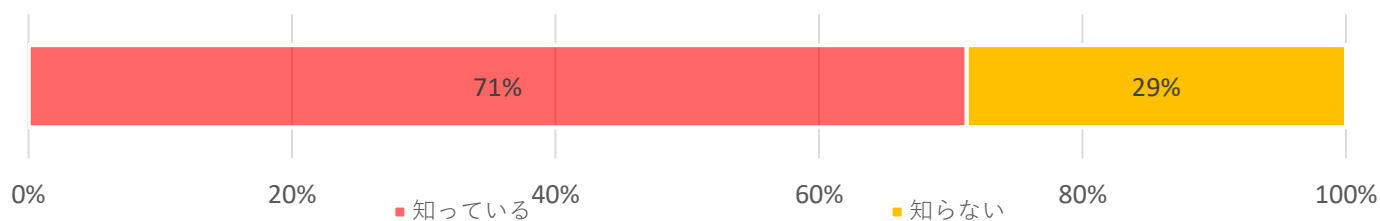
■ 悩みの相談相手（複数回答）（N = 1 3 7 5）

身近な相手に相談する学生が多いが、誰にも相談しない学生も多くみられる。



■ 学年担当制（N = 9 3 8）

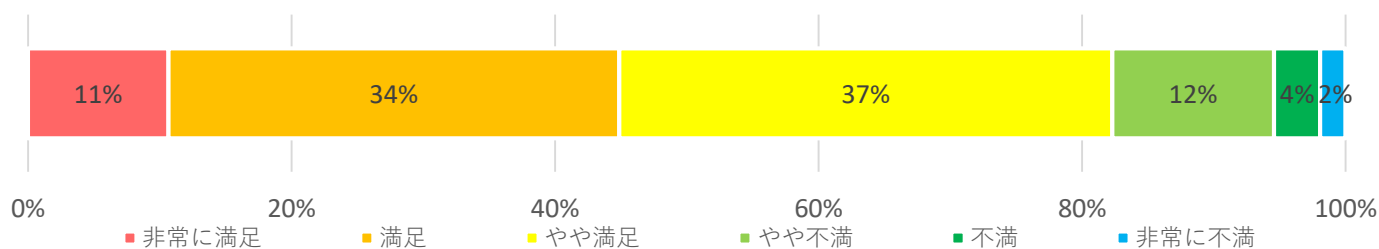
7割の学生が知っているという回答している。



6. 大学に対する満足度（1）

■ 学習環境の満足度（N = 9 3 8）

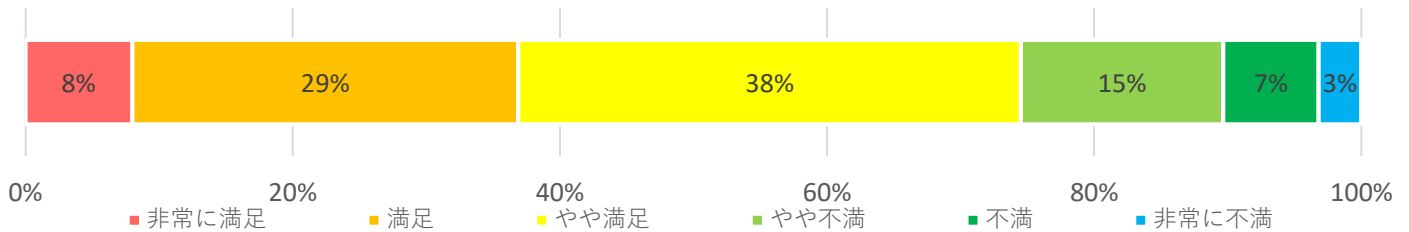
8割以上の学生が「やや満足」以上と回答している。



6. 大学に対する満足度（2）

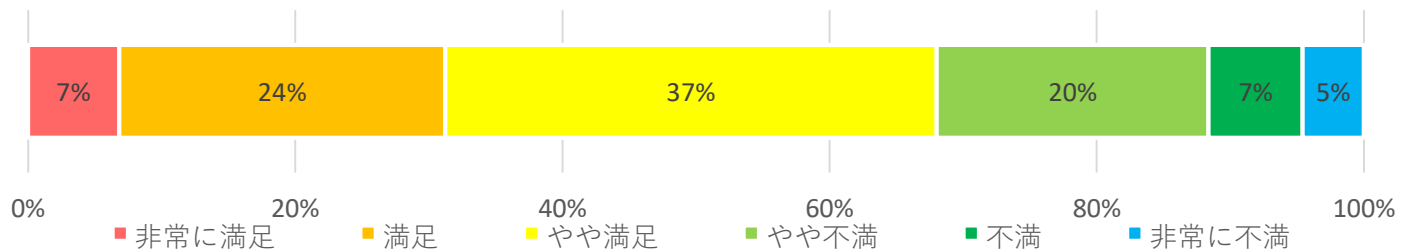
■ 情報機器の充実度（N = 938）

7割以上の学生が「やや満足」以上と回答している。



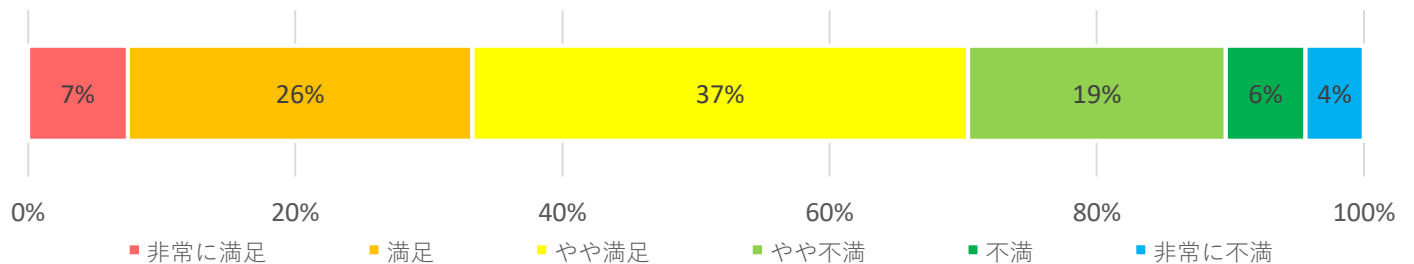
■ 講義情報等の伝達環境の満足度（N = 938）

6割の学生が「やや満足」以上と評価している。



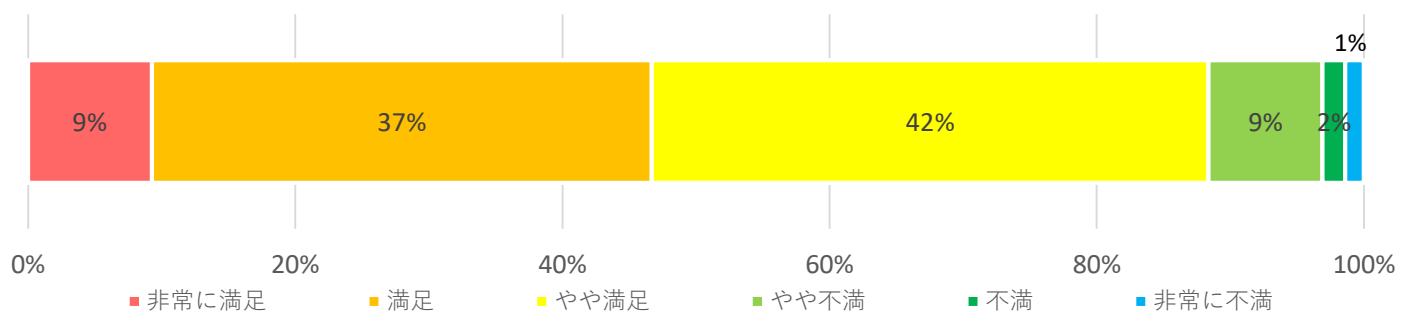
■ ホームページ等での情報提供の満足度（N = 938）

7割の学生が「やや満足」以上と評価している。



■ 相談環境の満足度（N = 938）

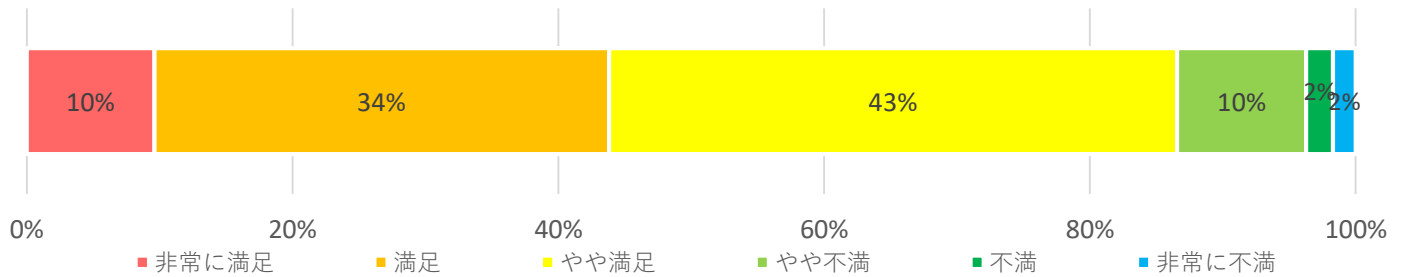
約9割の学生が「やや満足」以上と評価している。



6. 大学に対する満足度（3）

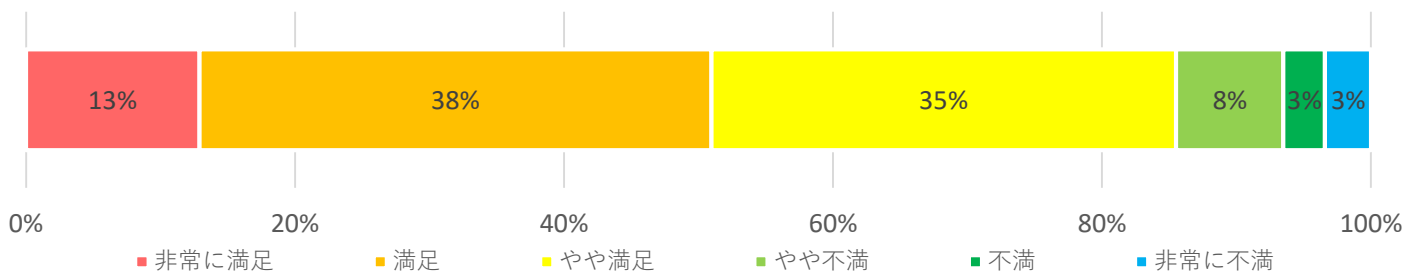
■ 教員サポートの満足度（N = 938）

教員によるサポートに満足している学生が約9割を占めている。



■ 事務局での窓口対応の満足度（N = 938）

8割を超える学生が「やや満足」以上と評価している。

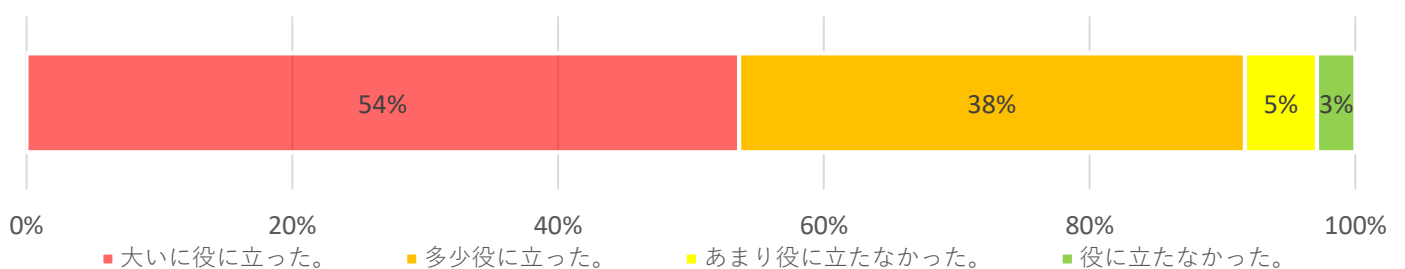


7. 新型コロナ関連（1）

本学では、遠隔授業の受講に伴う経費のほか修学のため有効に活用してもらうことを目的として、すべての学生に対し一律3万円の学生支援金の支給を行いました。

■ 学生支援金の有効度（N = 938）

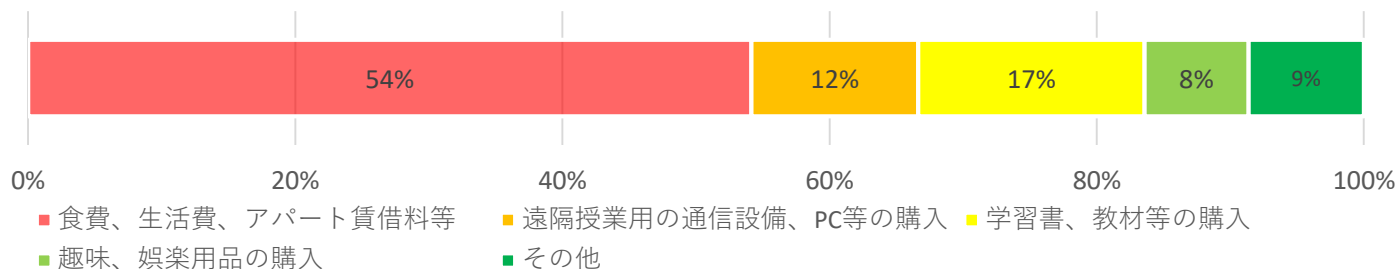
半数以上が大いに役に立ったと回答している。



7. 新型コロナ関連（2）

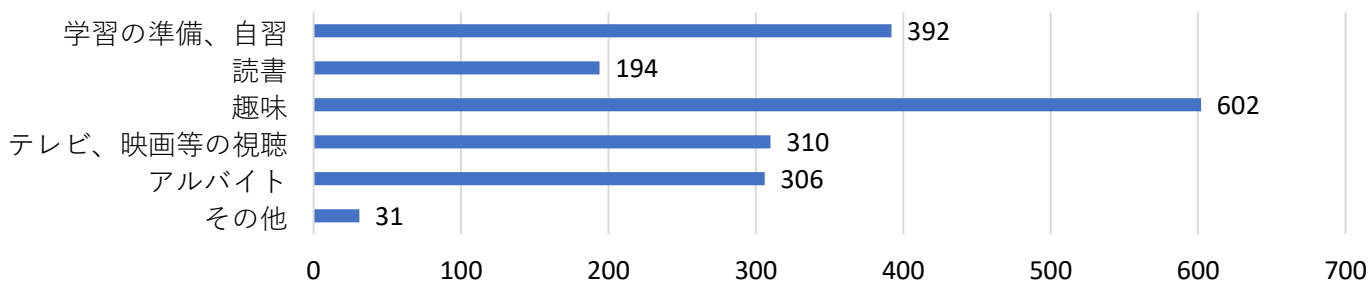
■ 学生支援金の使途（N = 938）

半数以上が食費、生活費に充てている。



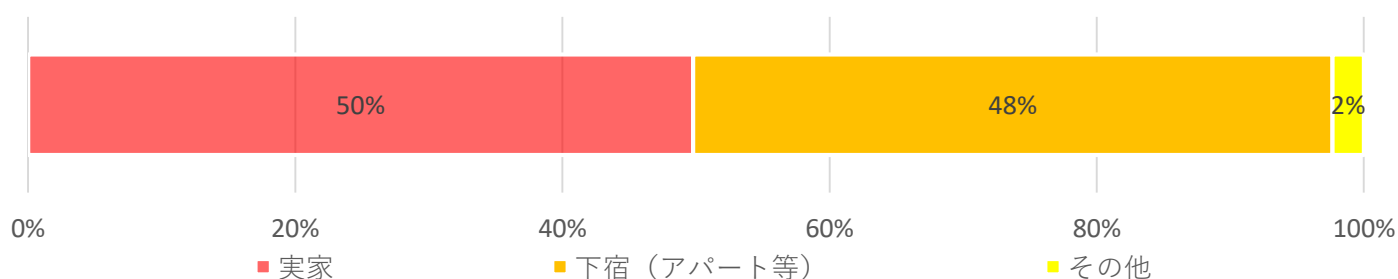
■ 授業開始前の緊急事態宣言などによる外出自粛期間中（4月～5月）の活動（複数回答）（N = 1835）

学習準備、趣味などが多いが、アルバイトに行っていた学生もいた。



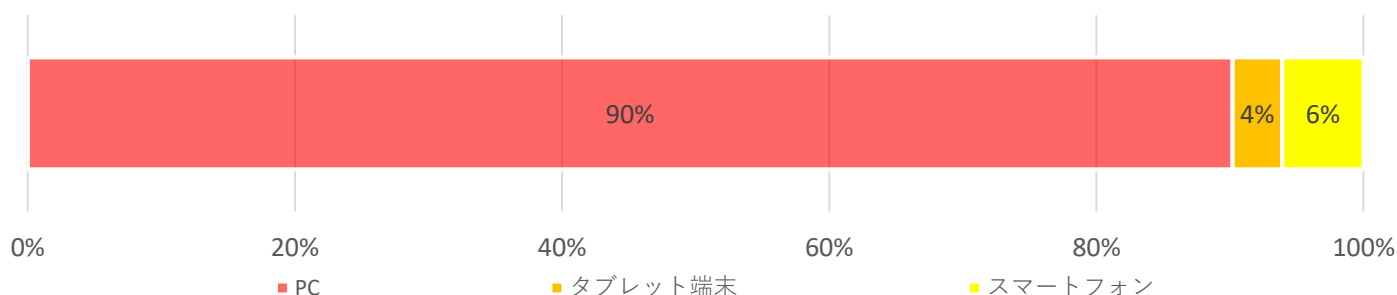
■ 遠隔授業の受講場所（N = 938）

実家と下宿（アパート等）がちょうど半数位ずつになっている。



■ 遠隔授業の受講機材（N = 938）

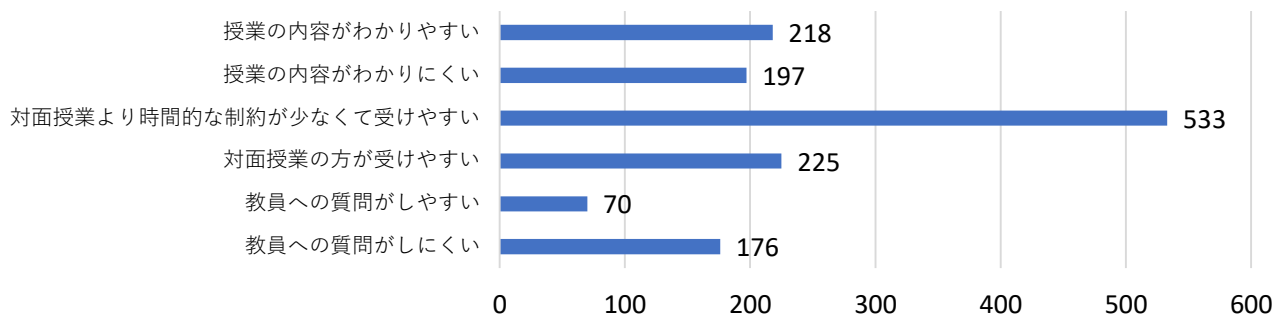
9割の学生がPCを使用している。



7. 新型コロナ関連（3）

■ 遠隔授業を受けてどのように感じましたか。（複数回答）（N = 1 4 1 9）

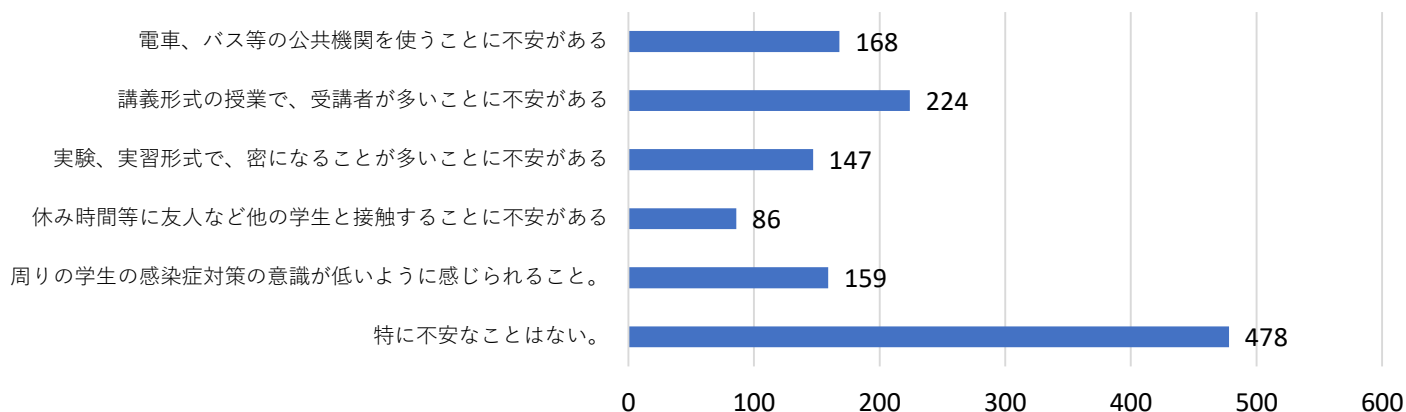
授業によってわかりやすさの違いがあったようであるが、教員への質問は対面の方がしやすいようである。



■ 感染症に関連し、大学に通学することについて不安がありますか。（複数回答）

（N = 1 2 6 2）

6割を超える学生が不安を感じている。



■ 感染症対策として、していることはありますか。（複数回答）（N = 2 3 3 4）

ほとんどの学生が対策を行っている。特にマスクの着用と手洗い等の励行が多い。

